

収穫



枝豆を収穫する大学生と児童ら



脱穀作業に汗を流す参加者

調理



点心づくりを楽しむ親子

味わう



秋の実りを味わう参加者ら

食の恵みを知る 秋のイベント続々と開催

枝豆の収穫、もち米の脱穀
2つの体験イベント

10月15日は、2つの収穫体験がありました。一つ目は、熊井地内の圃場で行われた、大東文化大学国際関係学部「大豆のアジア学」研究班の学生らが、亀井小学校3年生を招いて行った枝豆収穫体験です。

収穫した枝豆は、高野倉の花ノ木営農組合の方々から指導を受け、同大学が実施する平成27年度中山間地域ふるさと事業調査研究事業(中山間「ふるさと支援隊」)の一環で、学生らが自ら育てたもの。500gのピタリ賞を目指し、ゲーム要素を取り入れながら、楽しく収穫しました。

二つ目は、農村公園体験農園で行われた、「もち米づくり栽培教室」での脱穀体験です。わらの香りがあふれる中、参加者は収穫した約560kgのもち米を脱穀しました。

もち米は、6月の初旬に参加者自身が苗を植え付けたもので、その後、定期的に田んぼの管理を行ってきました。10月に入り、ようやく実った稲を刈り取り、稲わらで束にし、天日で干しました。参加者は「普段体験しない作業で、農家の人の大変さが分かった」などと話していました。

料理や食べることで
食の恵みを実感

料理や食べることを通じて、食材から料理ができる工程に触れることで、食に対する興味・関心を深めることもできます。11月17日、町保健センターで行われた、「親子でクッキング!はとっ子料理教室」(町と女子栄養大学との共催)では、講師の土屋純一氏(香川調理製菓専門学校)のアドバイスを受け、親子で中国料理の「点心」づくりに挑戦しました。調理中、さまざまな食材やプロの調理技術などに触れる場面もあり、小さな子も、食への関心を高めています。

11月8日に農村公園で行われた「第17回いも煮会」では、参加者は体験農園で無農薬で栽培されたサトイモやニンジンなどを使ったいも煮を味わいました。また、同園産のもち米を、子どもたちがスタッフと一緒にもちつきする場面もありました。

さまざまな人たちの努力や関わりがあった末に口に入る食べ物。それに感謝して、気持ちを込めた「いただきます」が、あちらこちらに響きました。

古代瓦作りの再現
復元窯での焼成実験見学会

10月14日～24日にかけて、町農村公園内にある古代復元窯で、土器や寄植鉢、瓦などの焼成実験見学会(主催:町教育委員会)が行われました。焼成されたのは、8月に2日間に渡って行われた「焼き物づくり体験」で、町内外の参加者が制作したものです。

古代復元窯での焼成実験は、今年で4回目。古代の方法を再現すべく、焼成に携わる方々の研究や努力により、毎回さまざまな焼き方が試されています。関係者は「こうした規模で再現実験できることはとても貴重で有意義だ」と話していました。

焼成する様子を見学する参加者(10月17日)



町内の240人以上が交流
グラウンドゴルフ大会(団体戦)

10月24日、鳩山町体育協会主催による「第33回町民グラウンドゴルフ大会(団体戦)」が梅沢運動場で開催され、41チームが熱戦を繰り広げました。1チーム6人で打数を競い合う団体戦では、チーム内で互いに掛け声をかけ、仲間のプレーに一喜一憂する姿が見られました。会場では、久々に顔を合わせた方同士が交流する姿も見られました。

競技の結果、「石坂1かわせみA」(石坂)が優勝、「ひまわり」(NT)が準優勝、「コスモスG A」(NT)が第3位に輝きました。

仲間のプレーを見守る参加者



(上段左から)河合さん、勝又さん、根岸さん、小鷹さん、小川さん(下段左から)小林さん、若菜さん、石井さん、野田さん、平田さん、高木さん、三枝さんは欠席

町の発展などに寄与された方を表彰
鳩山町表彰式

町の発展に寄与し、広く町民の模範となるべき功績のあった個人および団体を表彰する鳩山町表彰式が11月1日、役場305会議室で行われました。

今年は、以下の12人の方です。

- 【功労表彰】
- | | |
|---------------------|----------|
| 鳩山町議会議員 | 野田 小百合さん |
| 鳩山町議会議員 | 小川 唯一さん |
| 鳩山町スポーツ推進委員・体育協会会長 | 小鷹 明男さん |
| 鳩山町スポーツ推進委員・体育協会理事長 | 平田 景子さん |
| 鳩山野球スポーツ少年団認定指導員 | 高木 登さん |
| 鳩山野球スポーツ少年団認定指導員 | 若菜 末雄さん |
| 亀井サッカースポーツ少年団認定指導員 | 三枝 忠夫さん |
| 鳩山剣友会スポーツ少年団認定指導員 | 小林 邦彦さん |
| 鳩山剣友会スポーツ少年団指導員 | 勝又 敏行さん |
| 鳩山剣友会スポーツ少年団指導員 | 河合 春生さん |

- 【感謝状】
- | | |
|--------------------|---------|
| 元鳩山町花木園芸協会会員(※) | 石井 聡佑さん |
| 株式会社根岸土木工業代表取締役(※) | 根岸 聡介さん |

※石井聡佑さんは、平成11年以前から鳩山町花木園芸協会会員として町役場庁舎内の観葉植物の設置・管理を行い、花木園芸協会解散後の平成11年から現在までの16年間も引き続き、観葉植物の入替え給水等の管理を継続しています。

※根岸聡介さんは、平成4年頃から現在までの約23年間、小用地区から今宿方面までの街路樹の下に、町支給の花や自分で購入した花の苗を植栽、給水等の管理を継続しています。

※同日行われた「健康世帯表彰」の様子は、20ページに掲載しています。

自分の言葉で意見し、他人の意見を聞く 「言っぺんべー・聞いてんべー大会」

11月3日、町中央公民館で、初開催となる町民意見発表会「言っぺんべー・聞いてんべー大会」が開催され、延べ14人(社会人3人、小中学生11人)が、それぞれの意見を発表しました。

この発表会は、自分の考えを自分の言葉で話し、他人の意見をきちんと聞く力を育てようと、町社会教育委員が企画。参加者からは「発表者の思いが伝わってきた」「どの意見も立派だった」「来年もぜひやってほしい」などという声があがっていました。

多くの人の前で意見を述べる発表者



なお、発表者と発表テーマは、以下のとおりです。

発表者	発表テーマ
川村 瑞枝さん	私が昔やっていた仕事
手島 実美子さん	瓦に魅せられて
平嶋 舞さん	私の仕事を紹介します
大林 知さん	通学路
吉川 瑠璃さん	人
徳留 渚月さん	絶めつ危惧種と私達
河又 敏輝さん	考えよう 捨てる前
清水 大翔さん	将来の仕事
山下 心結さん	管理栄養士
生徒会本部(矢口 瞳さん、石井 百花さん、竹内 実菜子さん、中野 夢菜さん、浅野 夢希子さん)	鳩山中学校について



発表者と社会教育委員の皆さん



動脈硬化度を測定する参加者

自分の体は自分でチェック 「K-1測定」等に多くの来場者

10月17日、自主的に健康づくりに取り組むきっかけとしてもらうため、東京都健康長寿医療センターなどの協力のもと、「K-1(健康が1番)測定2015」と「AKB測定」が町保健センターで行われました。参加者は、動脈硬化度や体内糖化度、バランス能力、歩行速度などを測定し、自分の体の健康状態を確認しました。

また、来場者は、同時開催された「はとっ子給食レシピコンテスト2015」の公開2次(試食)審査(結果は6ページ参照)や、地域活動支援センター「はばたき」による手作りお菓子の販売も楽しみました。



良い睡眠のための枕の重要性を、実演を踏まえて説明する三橋さん

快眠セラピストによる 「こころの健康づくり講演会」を開催

11月7日、町保健センターで「こころとからだを元気にする!「快眠アドバイス」と題した講演会が行われ、快眠セラピストである講師の三橋 美穂氏が、質の良い睡眠について講演しました。

講演では、自分の体に合った枕を使うことの重要性や、体の凝りを改善する中指回し、アイマスクを使ったリラクゼーション法などについて、実演を交えて分かりやすく説明されていました。参加者からは、「教わったことを早速やってみよう」「明日のために眠るという考え方は新鮮だった」との声があがっていました。

多くの出会いを地域福祉の新たな一歩へ 第20回ふれあい広場

子どもからお年寄り、障がいのあるなしに関わらず、さまざまな立場にある方々が集まり、催しや体験を通じた交流と情報交換を目的に、町社会福祉協議会とふれあい広場実行委員会が、11月15日、町中央公民館で「第20回ふれあい広場」を開催しました。

会場では、ダンスや音楽、手話による歌、童謡や吹奏楽、バンド演奏のほか、藤山 晃太郎さんによる江戸マジックや踊 正太郎さんによる津軽三味線などのステージ発表や、模擬店やフリーマーケット、アニマルセラピー、ゲームなどのブースに多くの人が訪れ、世代や立場を超えて交流する姿が多く見られました。

町社会福祉協議会表彰式に出席された皆さん



催しを通じて、さまざまな人たちが交流しました

なお、町の福祉に貢献した方々の表彰式も同日行われ、以下の方々が表彰されました。(順不同)

【表彰状】山下 博司さん(故人)、植木 弘さん、あゆみ会、鳩山町チャリティーフェスティバル実行委員会、坂本 義和さん、根岸 富一郎さん

【感謝状】Co-Live、山びこ会、坂戸ガス株式会社、つぼみの会、三枝 進さん、三好 繁子さん、鳩山町商工会女性部、藤山 光彦さん、小池 猛さん

※ボランティアやデイサービスセンターでの介護職などを募集しています。ご興味のある方は、町社会福祉協議会(☎296-5296)までお気軽にご相談ください。

西入間支部・消防署連合特別点検で 鳩山消防団員も功労賞を受賞

11月8日、毛呂山町立泉野小学校体育館内で「平成27年度埼玉県消防協会西入間支部・消防署連合特別点検」が行われ、管内(鳩山町・毛呂山町・越生町)の消防署員と消防団員が一堂に介し、各種功労者等への表彰が行われたほか、関係者が今後の更なる防災体制の強化を誓い合いました。

なお、予定されていた、管理者らによる消防署員と消防団員の規律や機械器具などの点検は雨天のため見送られました。

※特別点検内で行われた「西入間広域消防組合防火ポスター表彰」の様子は、14、15ページに掲載しています。

表彰状を受け取る鳩山消防団員(写真中央)



煙の満ちた部屋での移動訓練を行う児童(おしゃもじ山クラブ)

放課後の集い場でも災害時の備え 学童保育所で消防訓練

放課後に児童が過ごす学童保育所での防災意識を高めようと、10月19日に学童保育おしゃもじ山クラブで、10月26日に学童保育室銀河鉄道'90で、消防訓練が行われました。

児童らは、火災発生を受け、指導員らの誘導で外へ避難する訓練や、消火器を使った消火訓練、火災現場を再現した煙に満ちた部屋での移動訓練を体験。訓練後には、訓練を実施した西入間広域消防組合鳩山分署の署員から、火災発生時の心得である、落ち着いて行動することの大切さが伝えられていました。